

# 三高同窓会会報

平成 28 年 3 月 発行

## 会長挨拶



雲南会会長  
西村 雄一郎

今年には暖冬ということですが、進学、就職試験に臨む生徒にとっては厳しい冬です。これまでの努力の成果を十分に発揮し、目標に向かってほしいものと、心から応援したいと思います。

さて、雲南会の大きな目的の一つに、在校生の活動支援があり、学校、PTAの期待も大きいものがあります。

## ご挨拶



校長  
恩田 佳雄

雲南会の皆様には、平素より母校にご支援と励ましを賜り、厚くお礼申し上げます。

一昨年四月に校長に就任しました第二期の恩田佳雄といたします。よろしくお願いたします。

旧仁多町の出身で、高校時代は出雲八代駅から国鉄と国鉄バスで通っていました。島根県の高校の教員になって以来、いつかは母校へと思いがありましたので、大変嬉しく思っています。

さて、二学期終業式の時に表彰伝達を行いました。これは二学期に生徒たちが獲得した賞状を全校生徒の前で改めて伝達するものです。主なものをあげますと、県高校新人水泳大会、永井隆平和賞、県青少年読書感想文コンクール、高校書道展、高文連文芸コンクール、高校美術展、赤十字救急法競技大会、インターハイ、ボート競技のポスターコンクール、島根県警主催の自転車の鍵掛け率を争う「鍵かけ甲子園」、雲南ディベート選手権など十三の分野で二十七人を表彰しました。

三刀屋高校の登校路には全国大会や中国大会への出場を決めた部活動の懸垂幕を並べています。現在懸けているのは、選抜大会を決めた男・女ソフトボール部、

しかし、生徒数の減少から雲南会の予算も減少し、各種経費を圧縮してきましたが、クラブ活動等の支援までも圧縮を考えざるを得ない段階まで来ました。

つきましては、年頭から恐縮ですが、同封しました振替用紙にて、活動協賛金のご寄附を賜りますようお願い申し上げます。

なお、三刀屋高校では、新入生増に向けて三高魅力化施策に取組み中で雲南会としても、協力できるところは協力していきたいと思うところです。

少林寺拳法です。また、八月の全国高等学校総合文化祭へ出品するのが美術部、書道部、写真部です。少林寺拳法と美術部で出場を決めた生徒は同一生徒で、体育系と文科系での同時出場は聞いたことがありません。

三刀屋高校は平成十六年に普通科から総合学科に改編しました。三刀屋高校の総合学科の特徴は「普通科+体験的キャリア教育」と「多様な選択科目」です。普通科の内容に加えて体験的なキャリア教育を行い、二・三年次で約百もの科目が選択できるようになっています。また、部活動の数も三十一と多く、これらの三刀屋高校の特徴を活かして様々な分野で生徒が活躍しています。

平成二十八年度入試より、それまで県外からの入学生は四名以内でしたが、その枠が撤廃され、県外からの志願者を積極的に受け入れることができるようになりました。三刀屋高校には寮もありますので、雲南会の皆様のお子様だけでなく、お孫様やご親戚、知人の方々にも三刀屋高校を勧めていただければ喜びます。

校歌の二番には「社会に立たん、健やかに」と歌われています。これからも総合学科の特色を活かし、社会に貢献する人材の育成に努めていくことが三刀屋高校に課せられた使命であると認識しています。雲南会の皆様には今後ともご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 2年生 研修旅行2015

今年の研修旅行は、十月十二日から十五日の行程で、天候にも恵まれ有意義な研修を受けて来ることができました。

今年度のイブニングセミナー(卒業生講演会)には、株式会社日本設計にお勤めの竹部友久さん(第三十七期卒業生)をお迎えし、お話をいただきました。

講演内容は、高校時代にバスケットボール部と勉強を両立していたこと、大学選びや受験勉強のこと、建築と環境の関わりについてなど多岐に渡りま

した。竹部さんは、今年度完成した雲南市新庁舎の設計を手掛けられた方でもあり、どのような想いで設計に関わられたかといった貴重なお話を伺うこともでき



ました。お話の中で、勉強をする意味は高校時代なかなか分からないが、学生時代の今が一番勉強に時間をかけられる時でもあり目的を持って今やるべきことを頑張ること、また仕事はお金を稼ぐためだけでなく、社会貢献や自らの生きがいにもつながるものであるといったことも話していただきました。

これからの進路を決定させていく生徒たちにとって、とてもためになるお話をしていただきました。

これからも雲南会の皆様との「つながり」を大切にして生徒の進路実現をサポートしていきたいと思っています。

今年度の研修旅行の日程は次のとおりでした。



- 十月十二日(月) 一日目
  - 日本科学未来館
  - イブニングセミナー
- 十月十三日(火) 二日目
  - 大学訪問(帝京大、麗澤大、日本工業大、関東学院大、駒沢女子大、横浜美術大)
  - 大学見学ではなく、実際に大学の授業を受けました。高校生にとって新鮮で貴重な機会でしたが、大学の先生方にとっても真剣に議論する三刀屋高校生が新鮮に感じられたようです。
- 十月十四日(水) 三日目
  - 班別自主研修(厚生労働省、文部科学省、環境省、東京都立図書館、国立感染症研究所、JAXA、博報堂、日本臓器移植ネットワークなど)
  - 劇団四季「ライオンキング」
- 十月十五日(木) 四日目
  - 東京・デイスニーランド

## 90周年「学校まるごと美術館」事業

過去の周年事業において卒業生の絵画が寄贈され、生徒の情操教育の推進に一役を担っていましたが、今回の90周年においても、本校の卒業生や在職の美術教諭より美術作品を寄付していただくことになりました。

学校のあちこちに飾られている絵画や彫刻、書、生け花、また、放課後に聞こえてくる吹奏学部や箏曲部の演奏は、そこに学ぶ生徒の落ち着いた言葉遣いや身だしなみ、挨拶や礼儀、周囲への気配り、遠慮、謙虚さなど生徒の「品位」を高め、学校の「品格」を高めてくれるものと思います。



絵画「橋の風景」  
32期 藤原 正人 様  
(会議室)



絵画「夏の昼下がり」  
31期 渡部 俊美 様  
(教室棟階段踊り場)



書「ヤマタノオロチ」  
23期 池田 清子 様  
(教室棟階段踊り場)



篆刻「明德惟馨」  
17期 那須 隆吉 様  
(校長室)





「夢見るうさぎ」  
美術部 2年 門脇宥紀菜



「夢追い」  
写真部 2年 小池ななみ

7月 全国高等学校総合文化祭 (広島県広島市)



「(臨)温泉銘」  
書道部 2年 黒目麻友



男子ソフトボール部



女子ソフトボール部

3月 全国高等学校選抜大会

男子ソフトボール部 (静岡県富士宮市)  
女子ソフトボール部 (千葉県成田市)  
少林寺拳法 2年 門脇宥紀菜 (香川県善通寺市)

三刀屋高校  
全国の舞台で活躍期待

運動部・文化部の活動のさかんな本校ですが、平成二十八年にある全国大会に出場・出品を続々と決めております。三刀屋高校生の活躍にご期待ください。

進学・就職状況

(1) 進学概況 (延べ数)

① 平成26年度合格者数 (過年度卒)

H26年度	国公立大学	私立大学	公立短大	私立短大	看護・医療専門	各種専門	補習科その他	民間就職	公務員	大学校	合計
現役	29	52	13	9	21	28	3	17	3	0	175
過卒	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	14
合計	35	60	13	9	21	28	3	17	3	0	189

② 主な合格校 (過年度卒含む)

国公立大	東京大、茨城大、大阪教育大、島根大(看護1, 教育1, 法文1, 総合理工2, 生物資源1)、広島大(3)、岡山大、鳥取大(3)、香川大、愛媛大(2)、高知大、徳島大、宮崎大、兵庫県立大(2)、島根県立大(総合政策2, 看護3)、岡山県立大、広島市立大、県立広島大、高知工科大、福岡県立大、熊本県立大
私立大	早稲田大、青山学院大、同志社大、関西大、立命館大、龍谷大、近畿大学、鈴鹿医療大、神戸学院大、美作大、岡山理科大、福山大、比治山大、広島修道大、広島工業大、広島国際大、広島国際学院大、安田女子大など
公私立短大	神戸女子短大、島根県立大短大部(保育3, 総合文化6, 栄養1)、新見公立短大、川崎医療短大、鳥取短大、比治山大学短大部、美作短大、安田女子短大、山口短大など
看護専門	岡山医療福祉専門学校、広島県立三次看護専門学校、浜田医療センター附属看護学校、島根県立石見高等看護学院、出雲医療看護専門学校、松江総合医療専門学校など
医療系専門	島根県歯科技術専門学校、出雲医療看護専門学校、神戸医療福祉専門学校、島根リハビリテーション学院、日本歯科学院専門学校など
専門学校 (医療系以外)	高津理美容専門学校、辻調理師専門学校、大阪航空専門学校、松江理容美容専門学校、松江栄養調理製菓専門学校、松江総合ビジネスカレッジ、山陰中央専門大学校など

(2) 就職概況

① 就職内定先

平成26年度内定企業	
(県内)	クシロプレーキ株式会社 島根大東工場、株式会社出雲村田製作所、株式会社出雲たかはし、株式会社やまもと、株式会社ウシオ、島根イーグル株式会社、株式会社マルマン、SWS西日本株式会社、株式会社東急イン、東洋製鉄株式会社 出雲仁多工場、玉造温泉 長楽園
(県外)	有限会社皆生つるや、株式会社丸合

② 公務員合格者

採用種別	H26
島根県警	1
自衛隊(一般曹候補士)	1
自衛隊(自衛官候補生)	1
自衛隊(航空学生)	
防衛大学校(理工)	
合計	3

支部名	支部長名	開催日	場所
日登支部	藤原政文様	7月18日(土)	日登交流センター
大阪支部	城角直司様	9月5日(土)	大阪弥生会館
木次支部	出雲孝悦様	9月16日(水)	三新塔交流センター
斐伊支部	佐藤幸男様	9月26日(土)	斐伊交流センター
東京支部	岩佐壮四郎様	11月14日(土)	島根イン青山
西日登支部	金山信夫様	2月20日(土)	西日登交流センター

**事務局便り**  
支部総会開催  
今年も支部総会が各地で盛大に開催されました。懇親会については笑いあり、歌ありの支部もあり三刀屋高校で過ごされた青春時代を思い出しながら楽しく過ごされました。

次年度も各地区で開催される予定ですので、ご参加いただき旧交を暖めていただければと思います。なお、三刀屋高校内雲南会事務局(学校代表0854-4512721)に連絡していただければ各支部総会の予定等お伝えいたします。お気軽にお問い合わせください。



雲南会総会  
10月31日 雲南市経済文化会館 チェリヴァホール  
三刀屋高校後援会会長 速水雲南市長挨拶



大阪支部総会  
平成27年9月5日大阪市内弥生会館で大阪支部総会が実施されました。三刀屋からは金山副会長、校長、事務局員の細木が参加しました。



東京支部総会  
平成27年11月14日島根イン青山で東京支部総会が実施されました。三刀屋からは西村会長、校長、事務局員の田中が参加しました。

H26年度「雲南会活動協賛金」  
ご報告

H27年3月31日現在  
339名 819,390円

振り込み頂きました協賛金はH27年度の会計に繰り入れ、活動経費に充てさせて頂きました。ご協力いただいた方には芳名録(別紙)への掲載によってお礼にかえさせていただきます。ありがとうございました。今後も引き続き活動協賛金を募ります。百周年に向け雲南会も積極的に活動していきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。